



# ゲノムでみる アジアのなかの琉球人

キーワード：ゲノム 人類学 アジア 日本 琉球 移動 混血 遺伝適応 形態

2011年

## 4月16日(土)

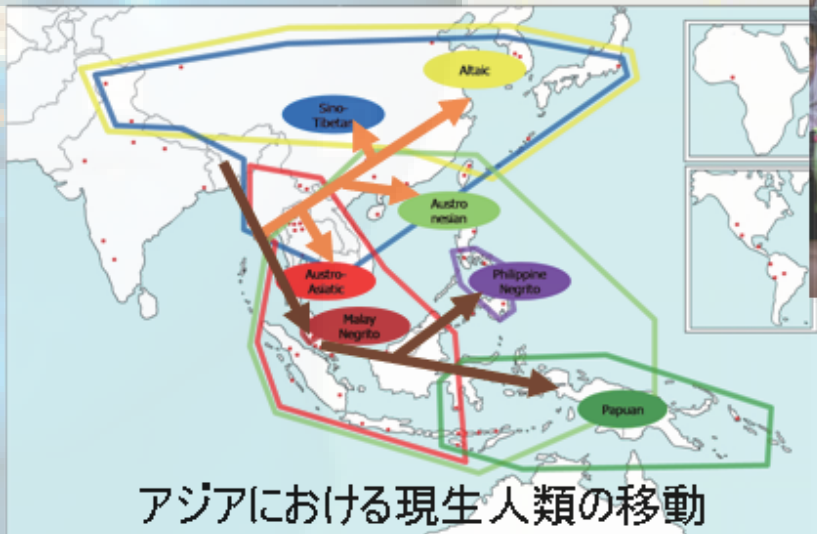
## 午後2時～4時 (開場1時半)

会場：沖縄県立博物館・美術館 3階講堂

無料

定員：200名（当日先着順、事前申込不要）

**ゲノムとは、DNAから成る生物の遺伝情報全体を指す言葉です。**ゲノムは突然変異や組み換えを繰り返しながら、世代から世代へと脈々と受け継がれます。つまり、ゲノムを調べることで、我々は人類の過去の歴史を知ることができます。本講座では、遺伝学の基礎知識から最新のゲノム研究までをわかりやすく解説しつつ、人類の移動・混血および遺伝適応・進化の歴史についての知見、および、**琉球人のルーツや沖縄顔（うちなーぢら）に関する最新の研究を紹介します。**



### 講師：木村 亮介氏

(琉球大学亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構 特命准教授)

早稲田大学卒。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了（理学博士）後、日本学術振興会特別研究員（PD）、東海大学医学部助教を経て、現職。専門はゲノム人類学。ヒトが如何にして全世界に拡散し、適応してきたのかについて、最先端のゲノム科学を駆使して解き明かそうとしている。